

SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)／革新的設計生産技術

Additive Manufacturingを核とした新しいものづくり創出の研究開発(MIAMI)

内閣府事業：NEDOから委託を受けた東京大学からの再委託事業【平成26年度から5ヶ年計画の3年度目】

平成28年度 事業計画

開発したAM(Additive Manufacturing)関連技術の社会浸透・普及促進を目指し、各種産業用途を中心とした国内外のAM技術動向、スーパーエンジニアリングプラスチック製品適用化動向、就学児童向け或いはスポーツ義足の実用化課題を調査する。

平成28年度 成果

■ 研究開発

1) 製造力の向上

ローエンドスーパーエンブラは目標強度を達成(サイズ以外は技術的には完了)

2) 製品力の向上

スポーツ義足、就学児童用義足など、活用事例として高い社会インパクト現行機と同等の性能を確立

3) 設計力の向上

義足用CADの構築

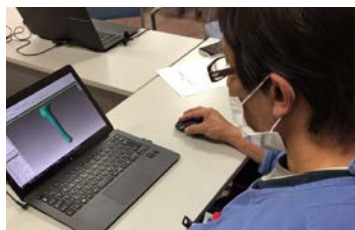


写真2. 義肢装具士が使えるUI



写真1. 完成形イメージ

■ 社会浸透・連携研究 (主担当：MSTC)

1) AMシンポジウム(第7回)開催

▶ アンケートの結果、本プロジェクトの対象素材のAM積層造形のニーズが高いことが判明

2) 展示会等への出展

設計・製造ソリューション展(DMS)やものづくりマッチングJAPAN等に展示

3) ユーザー連携企業の調査

AMの高付加価値製造連携として、義足メーカーや歯科技工関係を中心に調査、意見交換を行い、実用化の可能性を模索

【結果】 医療用途は実用可能性大



写真3. AMシンポジウムの様子



写真4. ユーザー連携企業との連携